



## 日本人についての小噺を二つ

前回は世界が見る日本の姿の一部を紹介しましたが、今回は世界に流布している日本人に関する小噺(こばなし)を2つ紹介してみましょう。

最初に質問です。

「ある日、大洋を航海していた船が事故で沈没してしまいました。海に放り出された乗客は、遠くに見える島に向かって泳ぎだしました。その中のたった3人だけ、この小さな島に泳ぎ着くことができたのです。若い男2人と女1人でした。さて、この男2人は女1人をめぐってどんな行動をとったでしょうか?」

答えは次の通りです。

フランス: 1人は彼女の夫に、もう1人は彼女の愛人になりました。

イギリス人: なんと2人は、彼女を放って置いて、自分たちで愛し合い始めたのです。

イタリア人: 2人は彼女を自分が手に入れようと、決闘を始めたのです。

では日本人はどうしたでしょうか?

日本人: 2人は、島のどこかに電話がないかとあわてて探しに出かけました。本社に電話して上司の指示を仰ごうとしたのです。

一この小噺、日本人の行動形態の特徴をよく表わしていると思いますよね。

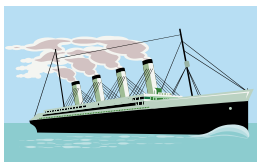


もう一つ、同じようなよく知られたタピタニックのジョークがあります。これははかかなり有名なのでご存知の方もいるかと思いますが。一いよいよ沈没しかけた船から、男も女

も我先にと救命ボートへ避難しようとした。大混乱になろうとしている現場で、婦女子を優先させようとして船長が説得を試みます。

まずアメリカ人男性に: 「キミはヒーローになりたくないか!」

イギリス人男性に: 「あなたは真性のジェントルマンだ!」



ドイツ人男性には: 「君の国の法律ではそうになっているよ」

それぞれ国民性の特徴を

よくつかんでいますよね。では日本人男性にはなんと言ったのでしょうか? 「皆がそうするからあなたもそうした方がいいと思いますよ」

このように日本人はまず周りに合わせようとするんですね。周囲の目を気にして突出することを恐れ、横並びを好み、他人のするように自分もする、という傾向を持っている。他人の目を気にし過ぎるように思いますね。

私の好きなドン・キホーテの言葉にこういうのがあります。「理想と正義に向かって突進するオレのことを、皆はおかしいと言う。でもやりたいことがあるのに、世間の風評、体面なんかを気にして現実には妥協、やろうとしない彼らこそおかしんじゃないのかね」この言葉の後半部分は日本人のメンタリティー、傾向性をも表わしています。そろそろ自分の意思を明確に表示し行動する日本人が増えてきてよいのではないかと思う昨今です。



清水武 Takeshi Shimizu 旅行作家  
世界文学紀行を定年後のライフワークに作品の舞台を訪ねている。  
東京都・昭島市在住

<http://homepage2.nifty.com/donky/>